



特定非営利活動法人

神戸日独協会会報

BERICHTE DER NPO JAPANISCH-DEUTSCHEN GESELLSCHAFT KOBE

Nr. 403

Februar

2025

NPO法人 神戸日独協会

〒651-0085 兵庫県神戸市中央区八幡通2-1-20 磯上公園内

神戸リガッタ・アンド・アスレティック倶楽部内

TEL/FAX 078-230-8150

郵便振替 01160-9-18199

E-mail: info@jdg-kobe.org URL <http://www.jdg-kobe.org/>

NPO JAPANISCH-DEUTSCHE
GESELLSCHAFT KOBE

Bei Kobe Regatta & Athletic Club

In Isogami-Park Yahata-Dori 2-1-20

Chuo-ku Kobe, Japan 〒651-0085

ドイツの総選挙について

神戸日独協会会長 柘田 義一

テレビ・新聞等の報道にてご存じのように、2月23日にドイツ連邦議会(Bundestag下院定数630)選挙が行われました。今回の総選挙は昨年11月6日のシュルツ連立政権の崩壊を受けて、9月に予定されていた選挙を前倒して行われたものです。

保守系野党「キリスト教民主・社会同盟(CDU/CSU)」が208議席で第1党を確保、移民排斥を訴える極右「ドイツのための選択肢(AfD)」が152議席で第2党へ躍進、シュルツ首相の率いる中道左派「社会民主党(SPD)」は120議席で歴史的な大敗を喫しました。日本の報道でも極右の AfD の選挙前第5党からの大躍進が大きく報じられました。ドイツ政界ではナチスの過去から主要政党は極右政党と協力しないという Brandmauer という合意があるため、躍進した AfD が連立政権に加わる可能性はないようです。

協会のドイツ語講座講読クラスにて昨年より AfD の動向、東部3州議会選挙、移民問題、難民保護申請者らによるテロや事件、連立政権の崩壊、総選挙世論調査等の選挙前情勢等々の数々の記事を読んできましたので、ほぼ予想通りの結果になり驚きは大きくはありませんでした。

AfD の主な政策は国境や移民管理の厳格化、原発再稼働、石油ガスの規制解除、EU 規制・官僚主義廃止、大型減税などで、国民 1 人あたりの所得の低い旧東ドイツのほぼ全域で支持されています。最近 AfD の形容詞 rechtsextrem に in Teilen が付されていますが、ドイツ連邦憲法擁護庁によると AfD 党員およそ4万人のうち1万1000人に右翼過激派の疑いがあるといい、非常に強力なファシスト的な手法をとることが多く、民主主義を弱体化させる危険性を見ている市民も多くいるようです。AfD 躍進の背景には、SNS の存在があります。TikTok の AfD のフォロワー数は約56万人と圧倒的に多く、党を支持するインフルエンサーが、AfD の主張を音楽やダンスを付けた動画などに再構築して、拡散しているという。これは日本でも最近大きな問題となっていますが。

昨年後半以来会報の紙面にてドイツと日本は、のみならず世界各国で、政治的・経済的・社会的に「混迷」に陥っていると述べてきました。このような時こそドイツからの最新情報を知り、問題解決の参考にしませんか。ドイツ語講座の講読クラスに積極的にご参加ください。

ドイツ時事講演会

「戦後の日独の歩みと今後の政治課題」

理事 押尾 愛子

神戸日独協会副会長の小坂 節雄氏は、元在ハンブルク総領事で、ドイツの諸事情にお詳しい。そこで2月14日、戦後80年を経て、敗戦から立ち直り、現在はともに少数与党政権で、何かと似ていると言われる日独両国の戦後の歩みを振り返る講演をして頂いた。

小坂氏がケルンの日本文化会館を訪ねた時、当時の館長が小塩 節氏で、こう言われた。「日本とドイツの一番大きな違いは、憲法だ」と。その違いが、今日まで尾を引いている。日本の憲法は、GHQによって作られた平和憲法である、ではドイツの憲法は？終戦を迎える時、ドイツは「自主憲法制定権を認めないなら無条件降伏しない」と主張した。ドイツが憲法制定権にこだわったのは、第一次大戦後にマックス・ウェーバーの言った「憲法が外国によって策定されれば新政府は崩壊する」という危機感によるものだったという。

ドイツはカント以来の啓蒙の時代があり、多くの哲学者や思想家を生んでいる。ヘーゲルの「絶対精神」はフランシス・フクヤマの「歴史の終わり」に繋がり、シュペングラーの「西洋の没落」はハンチントンの「文明の衝突」に影響を与えている。マックス・ウェーバーは、資本主義は官僚化を伴うことを予言し、それはまさに的中している。つまり、ドイツでは憲法制定をはじめとして、何かをする場合、プロジェクトのようなものがあり、それがブランド首相の東方政策や、ドイツ統一、ヨーロッパの統合、ドイツ経済の繁栄を実現し、ドイツの創造的外交の成果として欧州統一に道筋をつけたといえる。

翻って日本はどうだろうか？戦後、日本にも丸山真男、清水幾太郎とか江藤 淳といった知識人と呼ばれる人が現われたが、今日まで影響を与えるような人はいない。

ところで、日本の憲法は平和憲法と言われるが、そもそも平和とは何か？平和はどうしたら成り立つのか？この問いにビスマルクは、一つは勢力が均衡状態にある場合、もう一つは一方が圧倒的に強い場合と、答えを出した。かつてアメリカ外交を担ったキッシンジャーはこの勢力均衡という考えを踏襲し、米ソの均衡を保とうと努めた。ビスマルクの答えだと、戦後日本の平和は、アメリカが圧倒的に強かったからということになる。が、アメリカ一強の時代は終わったし、トランプ大統領は、かつてのパックス・アメリカナを否定している。日本はこれからどうやって平和を保つのか？

平和を問う時によく引き合いに出されるのが、国連と中立国スイスだ。しかし国連はもう機能していないという。発足時は51か国だったが、現在の加盟国数は193か国で、その中には中国もあり、中国を支持する国が半数以上ある。一方スイスは国民皆兵の軍事大国だが、そのことが日本ではあまり知られていない。日本の軍事費が国民総生産の1%にも満たないのに、スイスは5%を費やしている。

さて、将来に向けてどうしたらいいのか？一つは国際政治を直視して発言する知識人の存在。次に30年間変わらず国を支配している官僚制の克服。更に、日本独自の外交の構想力、特にアジ

ア外交は今後極めて重要と、とても示唆に富んだ1時間半でした。

神戸日独協会遠足

「神戸再発見：兵庫津(ひょうごのつ)ミュージアム」

会員 沼田 宏明

「神戸再発見」第一弾として「兵庫津ミュージアム」に行ってきました。

常設展は、平安時代の大和田の泊から兵庫津に名前を変えて神戸に至る時代の変遷をビジュアルに判りやすく紹介しています。港の機能に焦点を当てた歴史概観で、ものの出入(貿易)のみならず人の往来による文化的宗教的な影響まで駆け足で知ることができます。兵庫津には今でいう税関があり、特に1445年の関税徴収記録は、ドイツリューベック港の入港記録と並び、水運史研究上の重要な資料とのことでした。これは新たな発見でした。

ミュージアムに隣接する初代(兵庫)県庁館は当時の建築を再現したもので、当時の役所の雰囲気判ります。また、番所の中のカフェでジャズ演奏があったり、別の部屋ではオカリナ教室があったりと文化的な活動も行われていました。

企画展は、神戸市出身の鳥観図絵師青山大介氏の作品の展示でした。旧居留地の地図を鳥観図で精密に再現したものや今日の神戸市の鳥観図など、知らなかっただけに新鮮な驚きでした。今回は6名の参加でしたが、神戸再発見と称して新しい名所を発掘していきたいと考えています。次回以降も奮ってご参加下さい。

会員の広場

このコーナーは、会報を通して会員相互の交流をしていただくための「広場」です。投稿をお待ちしています。今月は投稿がなく休載します。

(投稿規定：MSPゴシック12ポ、A4 1枚程度まで(多くの方に投稿していただくために、字数を厳守してください)、添付にて毎月第4月曜までに事務局へ)

ドイツ歌声サロン

この会は、ドイツ歌曲・オペラの名曲、ドイツの流行歌やドイツ映画音楽、ビアソングのみならずドイツの家庭や集会で広く歌われ、日本でも親しみ歌い継がれてきたドイツの愛唱歌をも採り上げています。3ヶ月でドイツ語での歌3曲をマスターします。

3月は2月に引き続き、Schneewaltzer (雪のワルツ)、Das gibt's nur einmal (ただ一度だけ)、An die Freude (歓喜の歌、ベートーヴェン交響曲第9番第4楽章で歌われる第一主題)を歌います。

講師：岩島 佳子さん

日時：3月1日(土) 13:30~15:00

場 所：神戸日独協会教室

参加費：2000円

参加条件：神戸日独協会会員以外にも多くの方のご参加をお待ちしています。ドイツ語の歌を主として歌いますが、ドイツ語が初めての方も是非ともご参加ください。

申 込：事務室へメール(info@jdg-kobe.org)・電話/ファックス(078-230-8150)にて。

ハントアルバイトの会(ポーセラーツ)

手仕事による製品作りのお好きな方の「会員サークル ハントアルバイトの会」が活動しています。ご参加をお待ちしています。

ハントアルバイトの会

桜のクリップとオースタン(復活祭)の小額の作成

ハントアルバイトの会3月定例会は桜のクリップとオースタンの小額を作成します。是非ともご参加いただき、春の季節をお手製の作品でお飾りください。

講 師：堀田真美子さん、柘田節子さん

日 時：3月23日(日)14:00～16:00

場 所：神戸日独協会教室

会 費：1000円(材料費)

参加条件：神戸日独協会会員以外にも多くの方のご参加をお待ちしています。

申 込：事務室へメール(info@jdg-kobe.org)・電話/ファックス(078-230-8150)にて。

ドイツ語談話室

第243回ドイツ語談話室

日 時：2025年1月18日(土) 14-16時

場 所：KR&AC 内 神戸日独協会会議室

テーマ：巳年

今回の司会は川見正之氏が担当し、今回のテーマである巳年について話した。蛇には生命力があり、脱皮して新しく生まれ変わるところから、復活や再生のシンボルとされる。また、古くから蛇は医療と医学のシンボルとしてWHOのシンボルマークになっており、世界中の救急車輻にも使われている。ドイツでは薬局のシンボルマークでもある。日本語には蛇に関連する慣用句がいくつかあり、例えば、“やぶへび”や“蛇足”などがある。

以下に参加者の皆さんの発言を一部紹介する。

—蛇は、ゆっくりと進んでいてもいきなり飛びかかることが有るので、慎重にすることが必要。

- 一方、蛇は治癒の力があるとされている。
- ドイツでは、うそをつく人は蛇の舌を持っている、と言はれる。
- エデンの園で蛇は、禁じられたリンゴを美味しいからと勧めて食べさせた。人は何事も自身でよく考え、自身の判断をすることが必要である。
- 中国でごちそうになったとき、ウナギだと思って頂いたが、後の説明で、実は蛇であったことを知った。中国では蛇もお料理の材料であるようだ。
- 蛇は古来より神聖な生き物であり、豊穡や金運をつかさどる神として祭られている。また、医療、治療、再生のシンボルともされている。
- 蛇の夢を見ると運が良いと言はれるが、先週、偶然に、朝方白い蛇が現れる夢を見た。
- 蛇は永遠のシンボルで神聖なもの、と言はれているが、子供の頃、家の屋根から大きな蛇が滑り落ちて来て驚いたことがあった。また、森の中で散歩していても良く蛇に出会った。昔はそうした生活の周りに蛇がいたものだった。
- ドイツに住んでいた時、街中の薬屋さんでよく蛇のシンボルマークを見かけた。
- 蛇に惑わされず、何でも自身で判断し行動する人間になりたい。
- 日本では、蛇は家の守り神で、特に白蛇は大切な守り神とされてきた。家だけでなく、我々人間の健康を守ってくれる大切な神である。

今後のドイツ語談話室の予定

第245回 2025年3月15日(土) 14-16時 テーマ : 春の目覚め

Protokoll der 243. Deutschen Gesprächsrunde

Zeit : Samstag, 18. Januar 2025, 14 bis 16 Uhr

Thema : Das Jahr der Schlange

Dieses Mal hatte Herr Masayuki Kawami die Gesprächsleitung und führte in das Thema ein. Schlangen gelten aufgrund ihrer Vitalität und ihrer Fähigkeit, sich zu häuten und wiedergeboren zu werden, als Symbole der Auferstehung und Regeneration. Darüber hinaus sind Schlangen seit der Antike Symbole der Medizin und der ärztlichen Behandlung, wurden zum Emblem der WHO und werden weltweit in Krankenwagen verwendet. In Deutschland dienen sie auch als Symbol für Apotheken. Es gibt mehrere idiomatische Ausdrücke im Japanischen, die mit Schlangen in Verbindung stehen, z.B. „yabuhebi“ (in ein Wespennest stechen) und „dasoku“(überfluss).

Hier einige der Wortmeldungen zum Thema :

- Schlangen können auch dann plötzlich zuschlagen, wenn sie sich langsam bewegen, daher ist Vorsicht geboten. Auf der anderen Seite werden Schlangen auch heilende Kräfte angesehen.
- In Deutschland sagt man, dass ein Mensch, der lügt, eine Schlangenzunge hat.
- Im Garten Eden lockte die Schlange Eva dazu, den verbotenen Apfel zu essen, weil es köstlich war. Es ist wichtig, dass Menschen über alles sorgfältig nachdenken und sich

ein eigenes Urteil bilden.

-Als eine Teilnehmerin in China zu einem Festmahl eingeladen wurde, nahm sie es in dem Glauben, es sei ein Aal, erfuhr aber später, dass es eigentlich eine Schlange war. Es scheint, dass Schlangen auch eine Zutat in der chinesischen Küche sind.

-Schlangen sind seit der Antike heilig und werden als Götter der Fruchtbarkeit und des Glücks verehrt. Sie gilt auch als Symbol für Medizin, Heilung und Wiedergeburt.

-Es heißt, dass Träume von Schlangen Glück bringen. Letzte Woche träumte eine Teilnehmerin zufällig, dass ihr am Morgen eine weiße Schlange erschien.

-Schlangen gelten als Symbol der Ewigkeit und Heiligkeit, doch als Kind war eine andere Teilnehmerin überrascht, als eine große Schlange vom Dach ihres Hauses herunterglitt. Auch bei Spaziergängen durch den Wald begegnete sie häufig Schlangen. In der Vergangenheit waren in diesen Lebensräumen häufig Schlangen anzutreffen.

-Als noch eine andere Teilnehmerin in Deutschland lebte, sah sie in den Apotheken der Stadt oft Schlangensymbole.

-Ein Teilnehmer möchte jemand werden, der sich nicht von Schlangen beeinflussen lässt und seine eigenen Entscheidungen treffen und bei allem die Initiative ergreifen kann.

-In Japan sind Schlangen die Schutzgötter des Hauses und insbesondere weiße Schlangen wurden als wichtige Schutzgötter angesehen. Er ist ein wichtiger Gott, der nicht nur unsere Häuser, sondern auch unsere Gesundheit schützt.

Nächstes Treffen :

Samstag, 15. März 2025, 14 bis 16 Uhr. Thema :Was in Frühling erwacht

ドイツ新事情 —Deutsche Welle の記事から—

2024 年の Unwort は“biodeutsch”

会員 栞田 節子

ドイツの2024年の Unwort (汚い・不適切な・問題の言葉)は“biodeutsch” (純粋なドイツの)に決まりました(2025年1月13日)。

bio-は「生物の・生命の」「自然・有機」を意味する接頭語、deutsch は「ドイツの・ドイツ人の」を意味し、合成されると「生物のドイツ人の・自然のドイツの」等の形容詞になります。

biodeutsch の言葉は、人間を軽視するために使用され日常的人種差別主義の一つの形になっていて、特にソーシャルメディアや公的な場で人種差別的そして国家主義者的な方法で使用されていることから、人種差別的な言葉に気づいてもらうことを意図して選ばれました。

本来この言葉は風刺的表現として使われていて「Bio-Siegel」(ドイツ人として)生まれながらの目印を持つことで、エコロジカルな栽培による製品に付与される「Güte-Siegel」品質の良さを保証する印の役割を持っていましたが、数年前から風刺的ではなく文字通りに意図された使い方が確認できます。つまり、名目上「純粋なドイツ人」と「第2級ドイツ人」への分類が伴って行われ、「移民背

景のない人」と「移民背景のある人」に区別して、国籍を人種差別的そして生物学的に捉える形が考え出されたことも更なる選考理由になっています。

「Unwort des Jahres」(今年の不適切語)は、毎年12月31日までに市民から送付される投稿提案から選考委員会(言語学者やジャーナリスト等から成る)が選考します。2024年度は3172通の投稿があり655の言葉の表現があり、その中の約80通が選考基準に沿うものでした。人間尊厳の原則或いは民主主義に違反する、社会集団を差別するまたは婉曲的に偽装されたまたは誤りに導くような言葉の概念や形式が問題であり、その言葉がいかにか頻回に提案されていても“Unwort”の選考には重要ではない、と責任者は報告しています。

☆今回は Tagesschau と ZDF の記事に依ります:

Tagesschau: „Bioddeutsch“ ist Unwort des Jahres 2024 (13.01.2025)

ZDF: „Bioddeutsch“ ist Unwort des Jahres 2024 (13.01.2025)

(このコーナーは、神戸日独協会ドイツ語講座講読クラスLN(火曜日)の受講者が授業で読んだ記事の中から興味深い up date なニュースを随時会報にて紹介しています。)

3月の企画委員会開催のお知らせ

この会は協会と会員との交流のための会です。協会の事業について種々の企画のご提案をいただき、協会の活動は活発化しています。

3月の委員会では、事務所の運営、語学・文化教室のカリキュラム、年間の行事、ドイツの独日協会との交流、協会の発信など2025年度の協会の運営と企画について協議をします。

是非とも参加し、協会の運営や企画などにご意見を下さい。

日時: 2025年3月8日(土)15:00~17:00

場所: 神戸日独協会事務室兼会議室

話題: 2025年度の事業企画について。

ご出席いただける方は、事務室へ電話・メールにてご連絡ください。当日参加も可。

事務室からのお知らせ

会報印刷・発送ボランティア募集

次回の印刷と発送は3月28日(金)を予定しています。ご協力をお願いします。

印刷: kinko's 三宮店(神戸市中央区雲井通 4-2-2 マークラー神戸ビル 1F) 10::30~

発送: 神戸日独協会事務室にて、12:00~

お手伝いいただける方は事前に事務室へご連絡下さい(TEL 078-230-8150)。

行事等の写真について

会報では輪転機印刷のため写真等の掲載は略させていただいています。協会ホームページ及びSNSに掲載していますので、ぜひご覧ください。

 ホームページ Homepage	 インスタグラム Instagram	 X Twitter
---	---	---

これからの神戸日独協会の催し

日時	催し	会場	申込〆切 など
3月1日(土) 13:30~15:00	ドイツ歌声サロン	神戸日独協会教室	当日参加可
3月8日(土) 15:00~17:00	企画委員会	神戸日独協会会議室	当日参加可
3月15日(土) 14:00~16:00	ドイツ語談話室	神戸日独協会会議室	当日参加可
3月23日(日) 14:00~16:00	ハントアルバイトの会	神戸日独協会教室	当日参加可